



大都市圏との 交流の架け橋に

総務省
若手企業人
地域交流
プログラム

市では、総務省の「若手企業人地域交流プログラム」を活用して、平成24年4月から、東京等に本社がある民間企業の若手社員2名を受け入れ、市が重点的に取り組んでいる農工商連携やブランド推進、観光振興などの産業振興分野において、民間ならではの視点や発想を採り入れた取り組みを進めるとともに、鹿屋市及び大隅地域と大都市圏等との交流活性化を目指してきました。

「株式会社ぐるなび」から派遣された後藤虎南さんは、農林商工部産業振興課において、主に「かのやブランド」の推進業務を担当。インターネットのポータルサイト「かのやファン倶楽部」を立ち上げ、鹿屋市の歴史、自然、グルメ、観光などの情報発信やメールアドレス等の読者との交流を通じて、鹿屋の魅力を伝え、知名度の向上に尽力されました。

「あいおいニッセイ同和損害保険株式会社」から派遣された大槻裕紀さんは、農林商工部商工観光課において、ばらを活かしたまちづくりや、まちのにぎわいづくりに関する施策等を担当。かのやばら祭りなど各種イベント等の企画・運営をはじめ、商工観光行政の推進に活躍されました。

2年間の派遣期間が満了となる3月31日を前に、お二人にこれまでの活動や思い出を振り返ってもらいました。

【聞き手】

総務課 ☎0994-31-1127